

# 会社説明会資料

2012年1月18日

地域とともに 地域のために



沖縄電力株式会社

# 沖縄電力の概要



## 【電力供給エリア】

東西1,000km、南北400kmに及ぶ広大な海域に点在する沖縄本島および37の島々に電力を供給しております。

(2011年3月末)

## 【沿革】

- 1972年 5月 沖縄電力設立
- 1976年 4月 配電5社と合併、電気事業一元化
- 1988年 10月 民営化
- 1992年 2月 東証第二部、福証に上場
- 2002年 3月 東証第一部に上場

総資産(連結)	3,851億円	電力設備	
売上高(連結)	1,584億円	発電	22か所(191万kW)
お客さま口数	84.2万口	変電	135か所(645万kVA)
株主総数	7,779人	送電	1,244km(延長)
従業員数(単体)	1,516人	配電	34,790km(延長)

# 沖縄電力の使命

## 電気事業者としての基本的使命

### 電力の安定供給

- 地域社会の生活や経済活動にとって不可欠な電気を安定的に供給し続けます

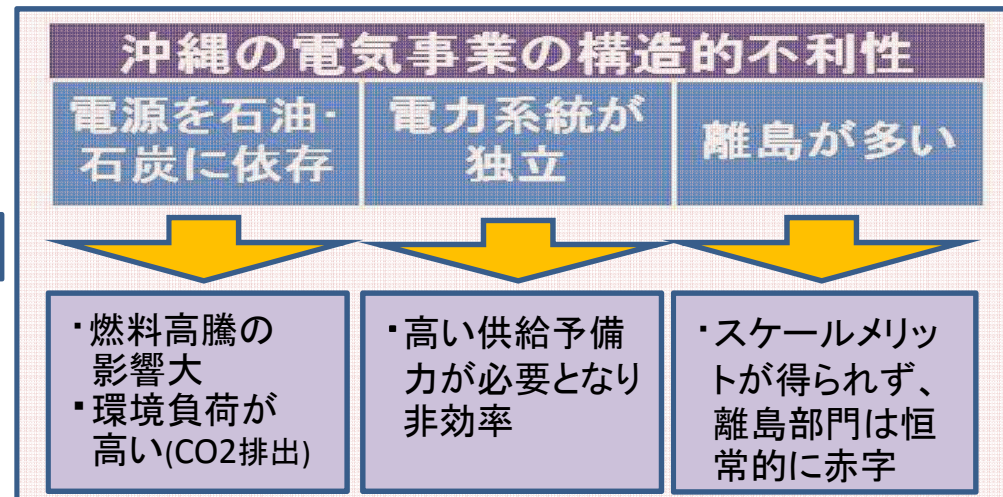
### 本土並み電気料金水準 ・サービス内容の確保

- 常にサービスの向上、適正な料金水準の確保に努めます

### 地球環境への 貢献

- 地球環境保全、地球温暖化対策(CO2対策)、循環型社会形成に向けた取り組み

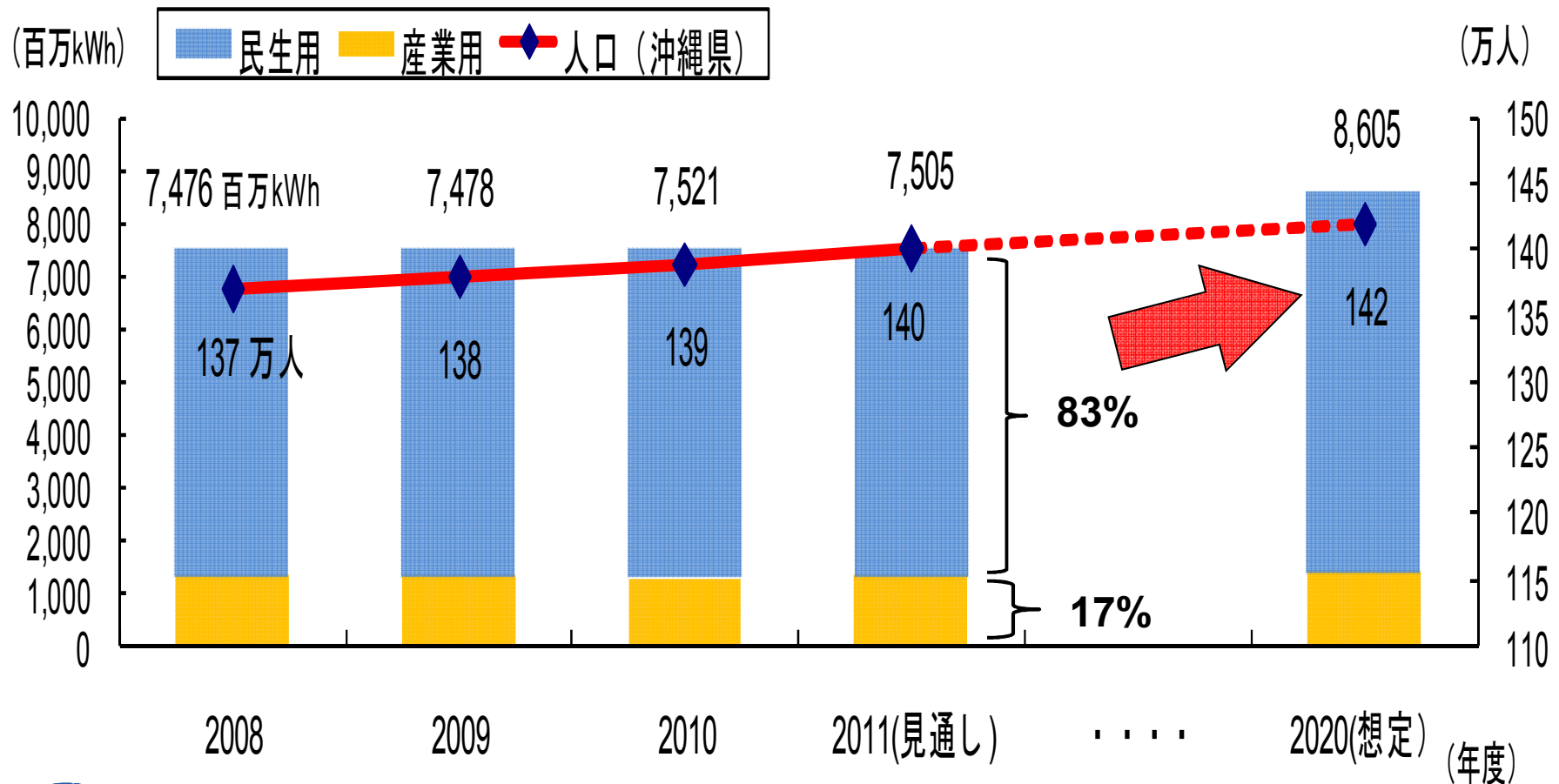
課題を克服し、  
使命を達成できるよう  
社員一丸となって取り組んでいます



今後も、地域とともに成長

# 電力需要

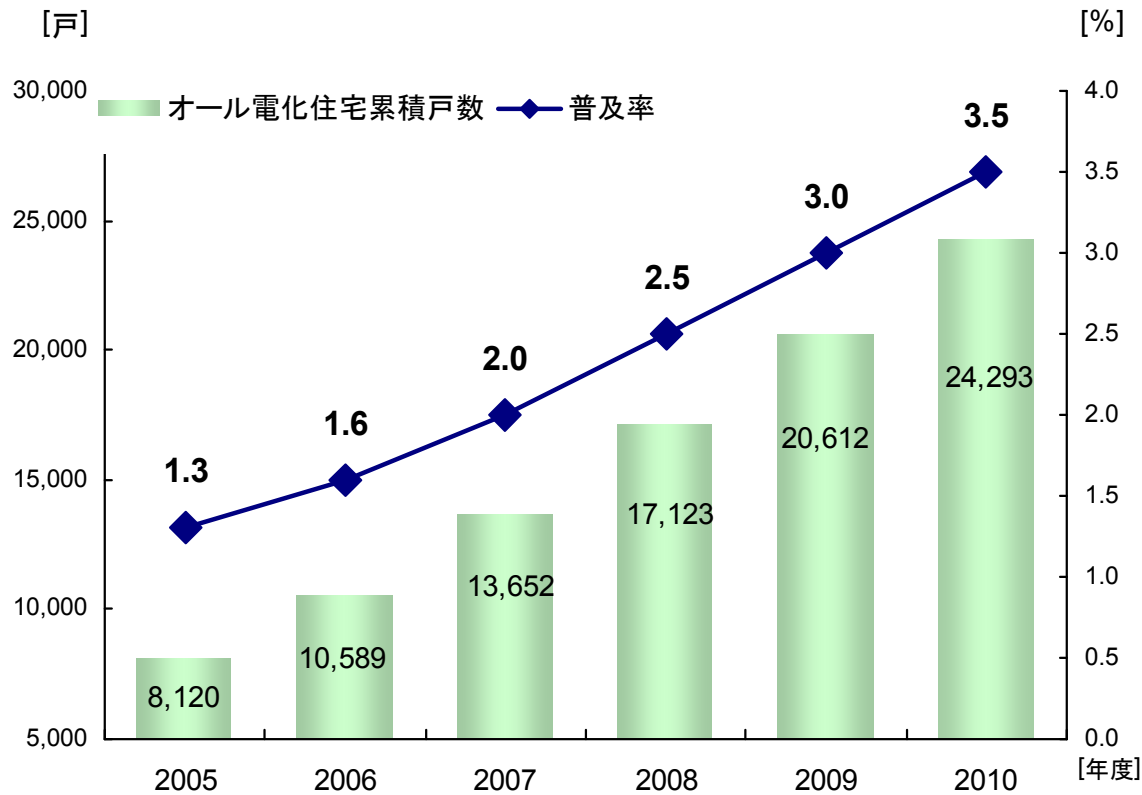
- 比較的景気変動の影響を受けにくい民生用需要が約8割を占める
- 人口の増加等を背景に、今後も電力需要は増加する見込み  
(沖縄県は2025～2030年に人口のピークを迎える見込み)



# オール電化の普及状況

■ オール電化住宅は着実に普及、特に新築戸建てでは、60%以上の採用率（2010年度実績）

## ■ オール電化普及状況の推移



## ■ 新築オール電化採用率 (2010年度実績)

戸建	64.1%
集合	6.2%
合計	17.7%



# 吉の浦火力発電所の建設

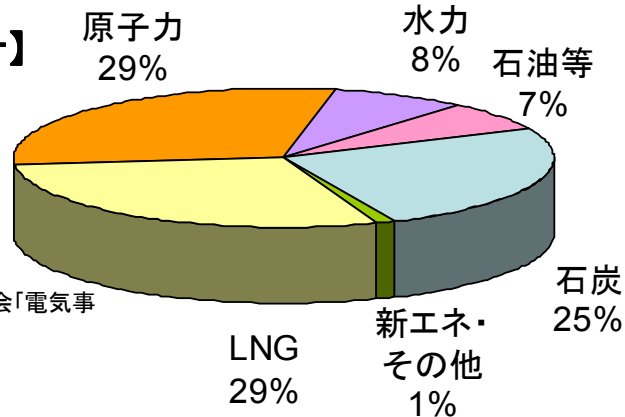
# 電源構成

- 地理的・地形的および需要規模の制約等により水力、原子力の立地が困難であることから、石油、石炭に頼る電源構成
- 環境特性に優れた液化天然ガス(LNG)火力発電所を導入し、電源の多様化を図る

## 【比較】 発電電力量構成比(発電端)

### 【電力10社計】

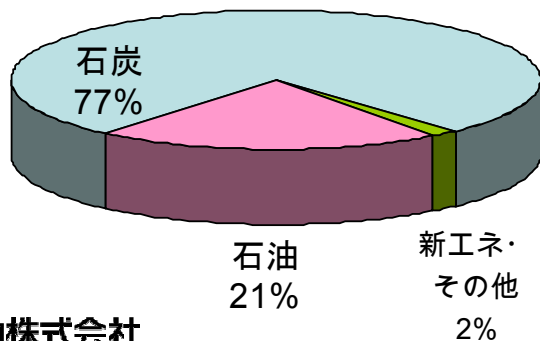
2009年度  
(実績)



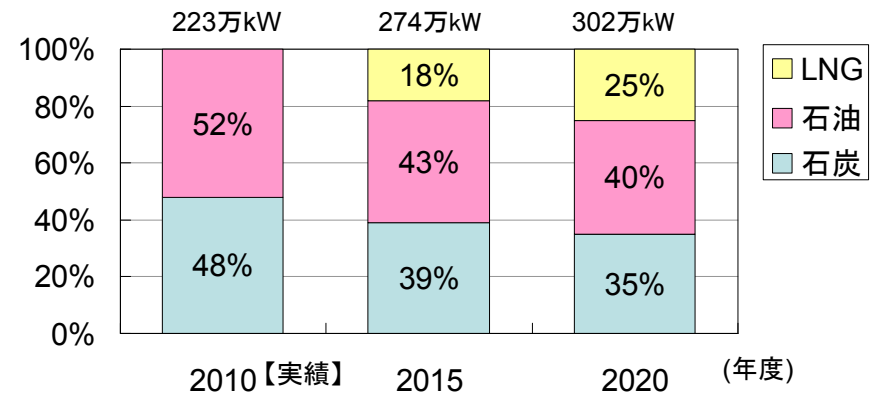
出展: 電気事業連合会「電気事業の現状2011」

### 【沖縄電力】

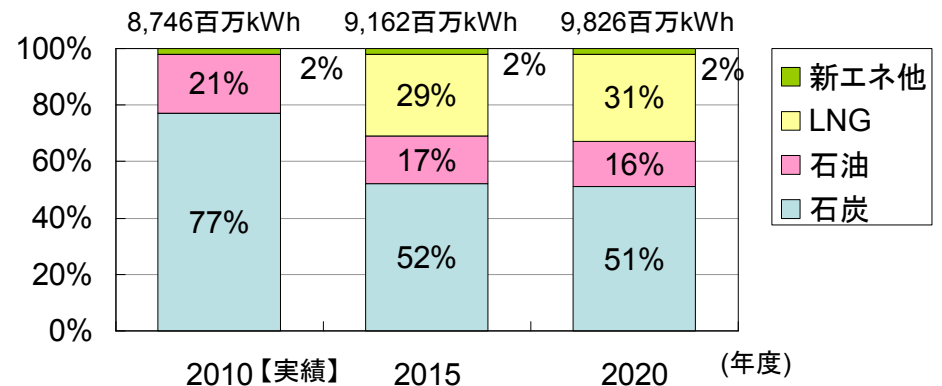
2010年度  
(実績)



## 【当社】年度末設備構成比推移



## 【当社】発電電力量構成比推移





# 吉の浦LNG火力発電所



## 【発電所の計画概要】

名 称	吉の浦火力発電所	
所 在 地	中城村字泊	
出 力	25.1万kW × 4機	
燃 料	液化天然ガス(LNG)	
貯 蔵 設 備	14万kl × 2基	
運 転 開 始 予 定 時 期	1号機	2012年11月
	2号機	2013年 5月
	3・4号機	2016年 以降

## 建設目的

- 沖縄県の堅調な電力需要増加への対応
- 環境対策 ⇒ CO2削減、環境関連コストの大幅増を回避
- 燃料多様化 ⇒ エネルギーセキュリティの向上

## ガス供給事業への展開

- 吉の浦火力発電所に導入するLNGの供給事業について検討を進めている（現在、沖縄ガスへの卸供給について協議中）
- 2015年を目途にガス供給事業の開始を目指している

## ～LNG(液化天然ガス)とは～

主な成分はメタンで、色も臭いもありません。他の化石燃料と比較して二酸化炭素の排出量が少ない。（石炭のCO2排出量を1とした場合、石油が0.8、LNGが0.6）また、大気汚染や酸性雨の原因となる硫黄酸化物やばいじんが全く排出されないほか、窒素酸化物の排出量も少ないことから「**環境にやさしくクリーンな燃料**」として高い評価を得ています。

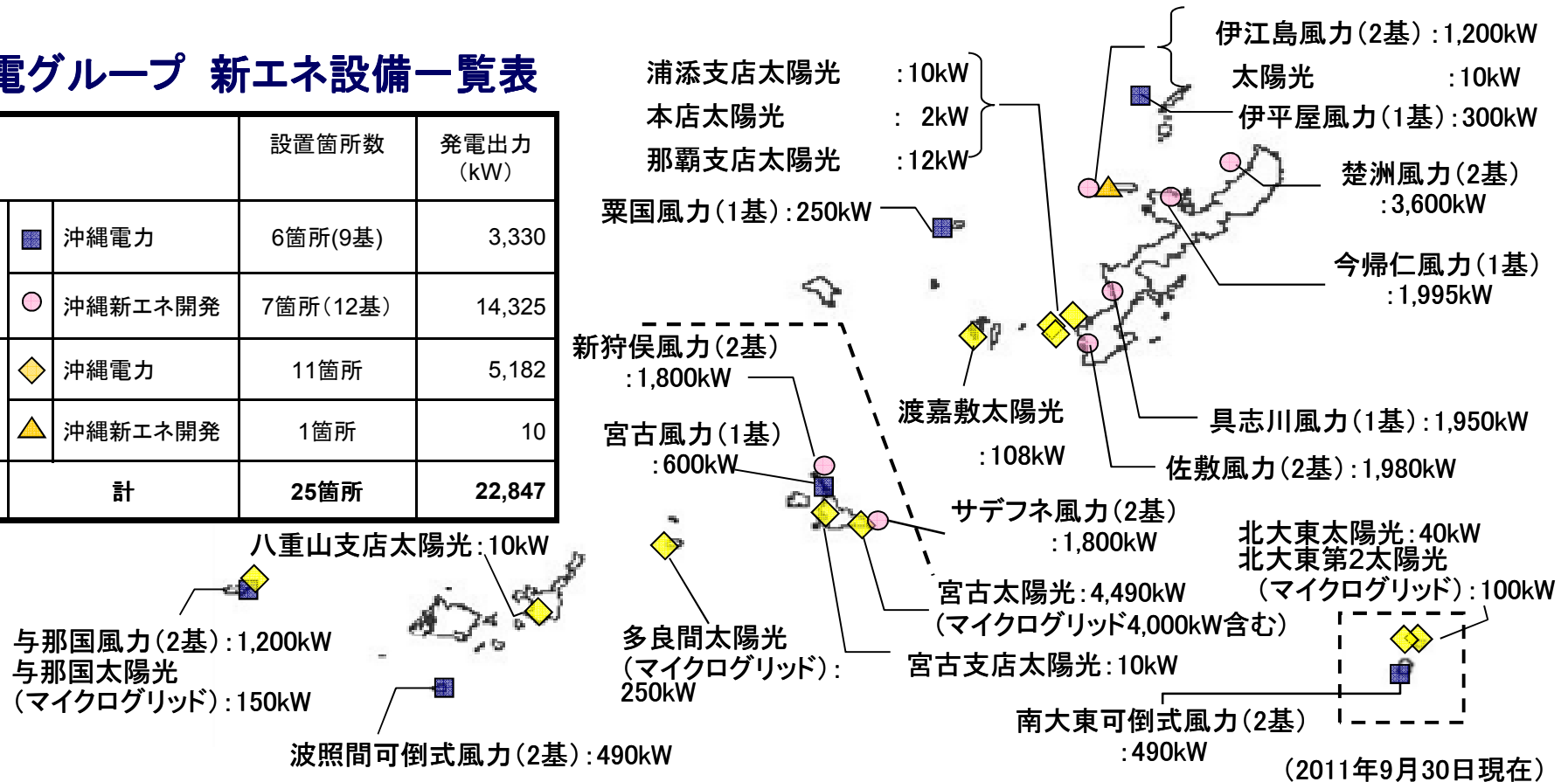
# 新エネルギーの導入拡大

# 風力・太陽光発電設備の設置状況

新エネルギーは、「**エネルギー源の多様化**」や「**地球温暖化対策**」の観点から重要であると認識しており、導入拡大に取り組んでいる。

## 沖電グループ 新エネ設備一覧表

		設置箇所数	発電出力 (kW)
風力発電	■ 沖縄電力	6箇所(9基)	3,330
	● 沖縄新エネ開発	7箇所(12基)	14,325
太陽光	◆ 沖縄電力	11箇所	5,182
	▲ 沖縄新エネ開発	1箇所	10
計		25箇所	22,847



# 新エネルギー導入拡大への取組み

新エネルギーの導入拡大は、「エネルギー源の多様化」や「地球温暖化対策」の観点から重要であるが、「コストが高い」、「出力が不安定」といった課題も残されている。

当社では、新エネルギー導入拡大へ向け様々な研究・実証試験等を行っている。

## ■ 宮古島実証試験設備 (4,000kW)



## (当社の取組み)

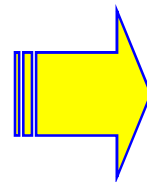
- ✓ 離島マイクログリッド実証試験の実施 (宮古島、多良間島、与那国島、北大東島)  
(離島の独立系統に太陽光発電設備が大量導入された場合の影響、系統安定化対策等の実証試験)
- ✓ 離島における可倒式風力導入
- ✓ 石炭火力発電所における木質バイオマスの混焼 (建設廃材を原料とした木質ペレットを具志川火力発電所で混焼)
- ✓ 沖縄本島メガソーラ発電設備導入 (名護市に大規模太陽光【1,000kW】を建設中、2011年度運転開始予定)

# 可倒式風力発電設備

- 2009年、波照間島において日本初の可倒式風力発電設備(245kW×2基)を導入
- 燃料コストの高い離島への導入で、燃料焚き減らしによる燃料費削減効果等を期待
- 今後、多良間島へも導入予定 (現在、波照間島:2基、南大東島:2基導入)

## ■ 可倒式風力発電のメリット及び特徴

- 風力発電機を90度近く倒すことができ、台風時に 風力発電機を倒すことで強風による被害を避けることができる
- 風力発電機を倒すことができるため、地上でのメンテナンス作業が可能
- 建設に大型クレーンが必要なく、比較的丘陵地にも設置可能





# 地域貢献活動、株主還元

# 地域貢献活動 ①

沖縄電力は、地域の皆さまのご支援・ご協力を得ながら、沖縄県の発展とともに成長して参りました。これからも“地域とともに、地域のために”をコーポレートスローガンに、地域の皆さまと共に持続的に発展する企業を目指し、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

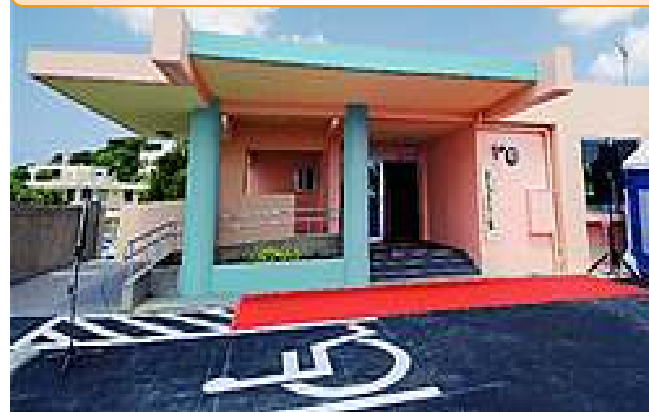
## ■ 沖縄青少年科学作品展



「青少年の科学に対する興味と関心の喚起、地域産業の担い手となる人材の育成」を目的に1979年より毎年開催しております。

県内小・中・高校、高等専門学校およびアメリカンスクールの生徒の科学作品が展示され、毎年1万人を超える人々が訪れます。

## ■ ファミリーハウス「がじゅまるの家」を寄贈



宿泊施設の様子

2008年6月、入院患者付き添い家族用宿泊施設(ファミリーハウス)を沖縄県へ寄贈しました。

当施設は、離島や遠隔地に住む子供たちが、高度な医療技術を有する沖縄県立南部医療センター・こども医療センター等で治療を受ける際に、家族の方々が低料金で宿泊でき、延べ1万人を超える方々が利用しております。利用者からは「助かりました、安心して看護に当たれます」等の評価を受けています。

# 地域貢献活動 ②

## ■ 残波しおさいの森づくり



2004年から7年間、読谷村の旧米軍射爆場跡地を「郷土の森」を復元する「残波しおさいの森」づくりを地域の皆さまとともに実施しました。10回の植樹活動により、**約6万5千本**の苗木および種子を植栽しました。(2008年度地域温暖化防止活動環境大臣賞受賞)

## ■ おきでんシュガーホール新人演奏会



## ■ おきでん旗争奪学童軟式野球大会



## ■ おきでん対話旬間

日頃の感謝の気持ちを込めて、「ふれあい活動」、「地域奉仕活動」、「メッセージ活動」、「スポーツ交流活動」などの交流活動を展開し、地域社会やお客さまとの心のふれあいを図っています。



親子科学教室



ゲートボール大会

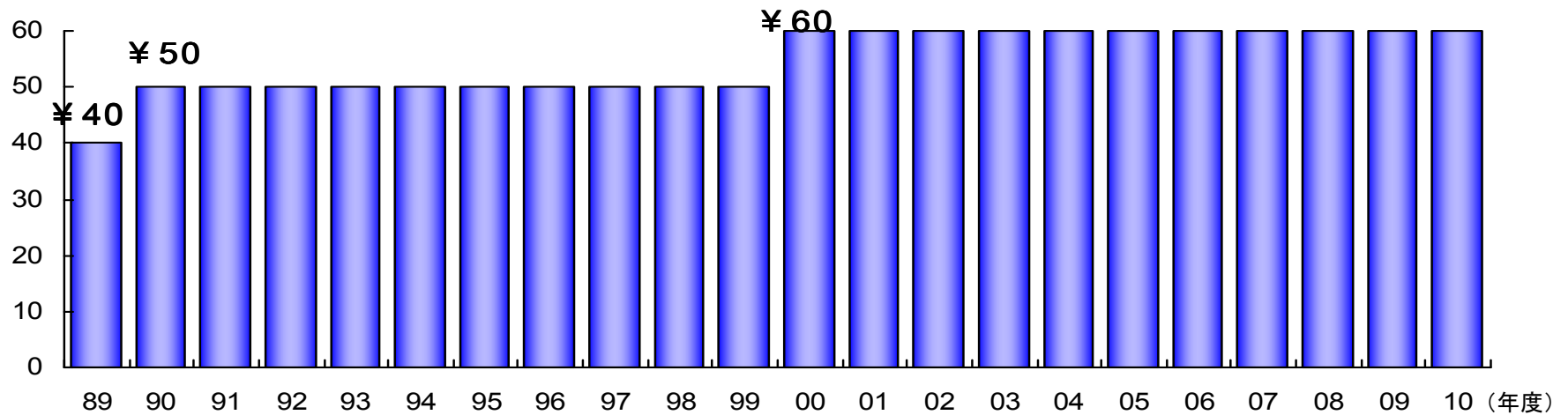
一人暮らしのお年寄り宅の  
電気設備点検・修理



# 株主の皆さまへの還元

安定配当の継続を基本に、株主の皆さまへの還元を実施して参りました

## ■ 年間 配当金額の推移(1989年度以降)



## ■ 株式分割の推移

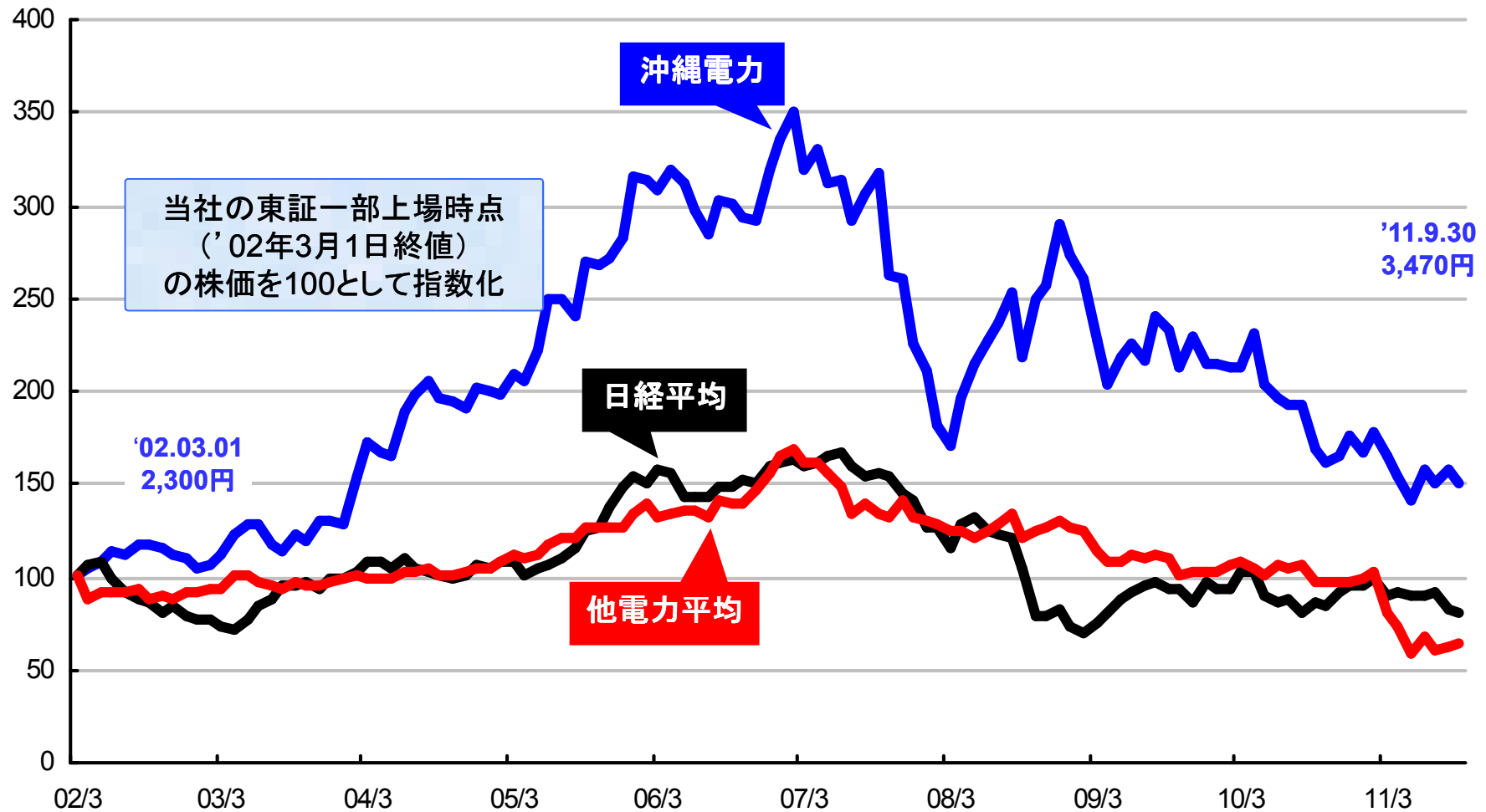
年月日	発行済株式数	分割割合
1992.02.10	14,728,132	(株式上場)
1995.11.20	14,875,413	1 : 1.01
1999.05.25	15,172,921	1 : 1.02
2005.05.20	15,931,567	1 : 1.05
2007.04.01	17,524,723	1 : 1.10

(参考) 配当利回り (2011.09.30)

配当利回り
1.72%

# 参考資料

# 株価の推移



注：表示期間において、2度の株式分割(基準日:2005年3月末、2007年3月末)を実施しているが、上記表およびグラフについて株価の調整は行っていない。

# 財務指標の推移

		2006	2007	2008	2009	2010
売上高 (百万円)	連結	159,395	161,521	173,136	162,501	158,494
	単体	147,201	149,320	161,239	151,825	150,896
営業利益 (百万円)	連結	15,482	14,809	14,086	17,397	14,376
	単体	13,690	13,144	12,006	14,935	12,490
経常利益 (百万円)	連結	11,739	10,971	10,717	13,659	11,042
	単体	10,096	9,733	8,889	11,315	9,240
当期純利益 (百万円)	連結	6,418	7,072	5,604	8,950	8,047
	単体	6,398	6,590	3,635	7,293	6,872
総資産営業利益率 (%) 【ROA】	連結	4.1	4.0	3.8	4.8	3.8
	単体	3.9	3.7	3.5	4.3	3.5
自己資本比率 (%)	連結	27.1	28.7	30.2	32.5	32.6
	単体	28.1	29.7	30.7	32.1	31.9
有利子負債残高 (億円)	連結	2,326	2,231	2,144	2,008	2,083
	単体	2,217	2,122	2,060	1,987	2,067
総資産 (百万円)	連結	376,071	369,840	365,557	365,299	385,159
	単体	354,113	347,192	343,999	349,308	368,596

# 株主・投資家の皆さまへの情報発信

沖縄電力「株主・投資家の皆さまへ」のホームページはこちら

<http://www.okiden.co.jp/ir/index.html>

株主・投資家の皆さまへ

経営方針・経営計画

財務情報

今日の株価

トップマネジメントメッセージ

株主総会

地域貢献活動

電気について知る

会社情報

経営方針・経営計画、財務情報、説明会資料等を掲載しております。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化などに伴い、変化することにご留意ください。

本資料に関するお問合せ先

〒901-2602

沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号

沖縄電力株式会社

経理部 財務課 IR担当

TEL : 098-877-2341

FAX : 098-879-1317

Email : [ir@okiden.co.jp](mailto:ir@okiden.co.jp)